

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			活動内容等に合わせて空間を区切り、児童が安全に過ごしやすいように環境設定している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			配置数は満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			業務の流れをマニュアル化し問題があった場合は職員間で話し合いながらマニュアルを変更している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			自己評価も保護者評価もHPで毎年公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	第三者への依頼・評価を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修や勉強会の機会を確保しているか	6			事業所内で勉強会を定期的に行うと共に他事業所とも合同研修を行い意見交換している。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			意思決定支援の観点から保護者だけでなく子どもとも話し合い、個別支援計画へ反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			発達検査等の結果から子どもの実態を把握し、支援計画の作成や日頃の支援に活かしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			行事担当者を決め担当者を中心に職員間で意見交換を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			利用状況や実態に応じて活動内容を検討し、楽しめる行事を計画している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を設定して支援しているか	6			活動内容やスケジュールに応じた課題設定を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			課題に応じて計画を作成し、目標を達成できるよう個別と集団の活動を組み合わせている。職員間で支援目標等を共有し一貫した支援に繋げている。
	15	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			朝礼時に活動の流れや内容、職員の役割や具体的な支援方法を共有しているが、長期休業日は朝からできないため前日に確認している。
	16	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6			その日の支援が適切だったか翌日振り返っている。気づきはホワイトボードや申し送りノートで伝達している。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援計画に沿って支援が行われ改善や自らのスキルアップにつなげているか	6			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6			ガイドラインに沿って活動や支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			管理者や児童発達支援管理責任者と共に必要に応じて職員も会議に参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			学校からの配付物やご家族からの情報、学校のHPを確認し、行事の把握に努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6			現在該当者はいないが、必要に応じて受け入れ体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			児童発達支援事業所にも担当者会議等に参加してもらい情報を得ている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6			移行する児童がいる場合は担当者会議等でそれまでの支援内容を情報提供し共有に努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6			公園で遊び方などを事前に説明し、遊具を共有して遊ぶ機会を設けている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6			熊本市のネットワーク会議には参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			送迎時や連絡帳により日頃の子どもの様子を伝えるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6			事業所での支援内容を伝えている。保護者の悩みについても対応方法について助言や情報提供（支援機関の紹介等）を行っている。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3		今年度は合同運動会参観や交流ボウリング大会を案内。運動会の参観はあったものの保護者同士の連携までは繋がっていない。保護者のニーズ、支援のあり方、交流会の形態等を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情があった場合は管理者や担当者が迅速に対応している。報告書を作成し解決策の検討や再発防止に努め情報を職員に周知徹底している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			毎月通信を発行し行事予定を掲載している。活動の様子は定期的にHPを通じて発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			同意書を作成し、情報の取り扱いについて保護者へ許可を得るようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			口頭だけでなく、連絡帳やメールで情報が視覚的に残る形でお知らせしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	1	事業所同士で行事に招待し交流を図る機会はあった。今後は地域住民を招待できるような行事企画の検討を行う。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			緊急時引き渡し訓練を実施。保護者にも協力頂いたことで周知できた。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			年に2回の避難訓練に加え、ハザードマップを用いて洪水時の避難経路の確認をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			定期的に勉強会を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			やむを得ず身体拘束が必要な子どもの保護者には理由や方法を十分に説明し同意を得た上で計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			検査結果等の情報を保護者から提供していただき、食事提供の際は事前に材料や成分を保護者へお知らせし安全性を確認している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6				